



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年10月24日

上場会社名 ピオフェルミン製薬株式会社
 コード番号 4517 URL <https://www.biofermin.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和気秀行
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 犬伏羲博
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 平成30年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 078-332-2890

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	5,769	2.1	1,954	2.9	1,986	3.5	1,390	4.0
30年3月期第2四半期	5,894	15.3	1,898	45.2	1,919	44.5	1,337	44.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	116.33	116.20
30年3月期第2四半期	111.98	111.80

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	30,601	27,774	90.7
30年3月期	29,954	26,757	89.2

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 27,752百万円 30年3月期 26,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		30.00		30.00	60.00
31年3月期		30.00			
31年3月期(予想)				30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,025	1.4	3,270	2.4	3,280	5.5	2,300	4.0	192.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期財務諸表及び主な注記」(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	12,154,000 株	30年3月期	12,154,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	192,351 株	30年3月期	203,118 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	11,956,176 株	30年3月期2Q	11,946,582 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算	P. 6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7
(追加情報)	P. 7
3. その他	
製品別売上高内訳	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の売上高は、新製品であるぼっこり整腸チュアブルの初回出荷があったものの、主力製品である新ビオフェルミンSが36億4千万円(前年同四半期比1.5%の減少)となったため、一般用製品全体で38億4千万円(前年同四半期比1.0%の減少)となりました。医療用医薬品は17億7千2百万円(前年同四半期比6.1%の減少)となり、食品原料を含めた売上高全体では57億6千9百万円(前年同四半期比2.1%の減少)となりました。

売上高の減少と売上原価の増加はあったものの、販売費及び一般管理費の減少があったために、営業利益は19億5千4百万円(前年同四半期比2.9%の増加)、経常利益が19億8千6百万円(前年同四半期比3.5%の増加)、四半期純利益は13億9千万円(前年同四半期比4.0%の増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末に比べて6億4千7百万円増加し、当第2四半期会計期間末における残高は、306億1百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金や売掛金の増加が主な要因となり、前事業年度末に比べて7億4千7百万円増加し、当第2四半期会計期間末における残高は、194億5千4百万円となりました。

固定資産は、当社保有株式の時価の減少があり、また有形固定資産の減価償却による減少があったこと等により、前事業年度末に比べて1億円減少し、当第2四半期会計期間末における残高は、111億4千7百万円となりました。

負債は、前事業年度末に比べて3億7千万円減少し、当第2四半期会計期間末における残高は、28億2千6百万円となりました。

純資産は、配当金の支払い等による減少要因があったものの、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前事業年度末に比べて10億1千7百万円増加し、当第2四半期会計期間末における残高は、277億7千4百万円となり、自己資本比率は90.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,525,155	14,741,667
売掛金	2,608,335	3,101,336
製品	743,044	771,176
仕掛品	669,384	657,387
原材料及び貯蔵品	144,079	163,017
その他	16,731	19,903
流動資産合計	18,706,731	19,454,488
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,775,650	8,765,852
減価償却累計額	△4,981,872	△5,067,613
建物（純額）	3,793,778	3,698,238
構築物	277,841	277,841
減価償却累計額	△227,590	△231,052
構築物（純額）	50,251	46,788
機械及び装置	9,386,224	9,469,119
減価償却累計額	△7,841,026	△8,091,071
機械及び装置（純額）	1,545,197	1,378,047
車両運搬具	16,582	16,582
減価償却累計額	△14,448	△14,981
車両運搬具（純額）	2,133	1,600
工具、器具及び備品	745,194	842,715
減価償却累計額	△655,050	△675,948
工具、器具及び備品（純額）	90,144	166,767
土地	3,338,574	3,338,574
リース資産	7,584	7,584
減価償却累計額	△1,264	△2,022
リース資産（純額）	6,320	5,561
建設仮勘定	2,500	129,900
有形固定資産合計	8,828,899	8,765,477
無形固定資産	100,364	97,530
投資その他の資産		
投資有価証券	2,243,704	2,210,102
従業員に対する長期貸付金	3,540	3,140
その他	70,980	70,763
投資その他の資産合計	2,318,224	2,284,005
固定資産合計	11,247,487	11,147,013
資産合計	29,954,219	30,601,501

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年 3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,049	25,154
未払金	1,036,691	730,445
未払法人税等	619,048	648,076
預り金	11,060	10,148
リース債務	1,638	1,638
販売促進引当金	176,790	137,755
賞与引当金	187,420	182,711
流動負債合計	2,068,699	1,735,929
固定負債		
リース債務	5,187	4,368
繰延税金負債	648,432	638,150
退職給付引当金	420,416	435,325
その他	54,433	12,871
固定負債合計	1,128,470	1,090,716
負債合計	3,197,169	2,826,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,227,000	1,227,000
資本剰余金	758,984	766,550
利益剰余金	23,844,827	24,877,199
自己株式	△308,273	△291,976
株主資本合計	25,522,538	26,578,774
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,196,624	1,173,305
評価・換算差額等合計	1,196,624	1,173,305
新株予約権	37,885	22,777
純資産合計	26,757,049	27,774,856
負債純資産合計	29,954,219	30,601,501

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	5,894,968	5,769,613
売上原価	2,018,582	2,072,212
売上総利益	3,876,385	3,697,401
販売費及び一般管理費		
販売促進費	179,537	117,947
販売促進引当金繰入額	94,000	137,755
発送費	34,647	23,026
広告宣伝費	981,692	736,609
役員報酬	73,950	53,315
給料及び手当	200,441	206,859
賞与引当金繰入額	73,473	68,669
退職給付費用	13,610	8,593
福利厚生費	48,005	49,010
株式報酬費用	10,912	8,840
減価償却費	19,965	19,249
研究開発費	133,080	151,109
その他	114,128	161,644
販売費及び一般管理費合計	1,977,443	1,742,629
営業利益	1,898,941	1,954,771
営業外収益		
受取利息	316	303
受取配当金	35,534	35,806
雑収入	4,760	6,977
営業外収益合計	40,611	43,088
営業外費用		
寄付金	4,580	310
固定資産除却損	366	855
たな卸資産廃棄損	13,767	3,348
雑損失	1,107	6,597
営業外費用合計	19,821	11,112
経常利益	1,919,732	1,986,747
税引前四半期純利益	1,919,732	1,986,747
法人税等	582,000	595,849
四半期純利益	1,337,732	1,390,898

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,919,732	1,986,747
減価償却費	459,443	443,896
株式報酬費用	10,912	8,840
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,475	△4,709
退職給付引当金の増減額(△は減少)	37,806	14,909
その他の引当金の増減額(△は減少)	1,000	△39,034
受取利息及び受取配当金	△35,850	△36,110
固定資産除却損	366	855
たな卸資産廃棄損	13,767	3,348
売上債権の増減額(△は増加)	△374,905	△493,000
たな卸資産の増減額(△は増加)	△203,236	△38,420
仕入債務の増減額(△は減少)	26,608	△10,895
未払金の増減額(△は減少)	108,350	△253,172
未払消費税等の増減額(△は減少)	71,530	△28,647
その他	△27,002	△49,007
小計	2,016,997	1,505,599
利息及び配当金の受取額	35,850	36,110
法人税等の支払額	△480,031	△563,460
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,572,816	978,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,900,000	△1,900,000
定期預金の払戻による収入	1,900,000	1,900,000
有形固定資産の取得による支出	△42,380	△390,349
無形固定資産の取得による支出	△24,335	△12,428
その他	1,167	617
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,547	△402,160
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△505	△758
ストックオプションの行使による収入	8	10
自己株式の取得による支出	△172	△97
配当金の支払額	△655,241	△358,732
財務活動によるキャッシュ・フロー	△655,911	△359,577
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	851,357	216,511
現金及び現金同等物の期首残高	10,900,116	12,625,155
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,751,473	12,841,667

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. その他

製品別売上高内訳

製品名	前第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
新ビオフェルミンS	3,659,246	62.1	3,604,679	62.5	△54,567	△1.5
ビオフェルミン止瀉薬	66,415	1.1	50,441	0.9	△15,973	△24.1
ビオフェルミン下痢止め	96,105	1.6	85,478	1.5	△10,627	△11.1
ビオフェルミン健胃消化薬錠	19,316	0.3	3,668	0.1	△15,648	△81.0
ビオフェルミンVC	14,973	0.3	2,171	0.0	△12,801	△85.5
ビオフェルミン便秘薬	20,962	0.4	13,405	0.2	△7,556	△36.0
ぽっこり整腸チュアブル	—	—	80,273	1.4	80,273	—
ビオフェルミンR	383,928	6.5	300,398	5.2	△83,529	△21.8
ビオフェルミン配合散	477,460	8.1	380,925	6.6	△96,535	△20.2
ビオフェルミン錠剤	1,020,583	17.3	1,086,375	18.8	65,791	6.4
ビオスミン配合散	5,766	0.1	4,445	0.1	△1,321	△22.9
食品原料	125,296	2.1	157,352	2.7	32,056	25.6
その他	4,914	0.1	—	—	△4,914	△100.0
合計	5,894,968	100.0	5,769,613	100.0	△125,354	△2.1
(うち輸出)	(270,217)	(4.6)	(251,930)	(4.4)	(△18,286)	(△6.8)